朝鮮日報

紀元二千五百六十五年
韓曆光武九年
陰曆甲辰二月二十日

定價
壹ヶ月 金參拾錢
前金ヲ要ス郵税六錢
二ヶ月ハ付金拾三錢

廣告
五號活字十九字詰
壹行壹日 金拾三錢
三日以上 金七錢
五日以上 金五錢
特別廣告 金貳拾錢

發行兼編輯人
印刷人

韓國釜山港大廳町二丁目七番地
發行所 朝鮮日報社

各地通信

門司特報（廿三日發 特派員發）

赤帽團追撃戰報

昨日發表せる拾三日蕪湖附近の戰線を退き本日當地に歸來せる預備兵附某砲兵將校の談に曰く

右翼黒木軍が前進行動を開始したるは實に客月廿七日の早朝よりとす、而して〇〇兵團右翼隊と並行して鴨綠江軍と連繫を執り井上藤山兵團中央に位置し我後山兵團は即ち左翼隊となり翼を張りて左方は野津軍に隣接せる兵團と連絡を通じ敵壘堂々として前進行動を開始したるなり、而して其戰闘狀況を語るの以前に當しく前面の敵情及び我第〇衛團の攻撃目的に就て轉述せざる可らざるの必要あり……

제53호 1905. 3. 25.

朝鮮日報

雜報

●御慰問使の戰地巡察（千秋海軍少佐の談）

曩に我が過りより滿洲に御慰問として差遣せられたる閑院侍從武官長、村木東宮武官長に随從して戰地視察に赴きたる千秋海軍少佐は去十七日東京水交社に於て各新聞記者通信員を會して戰地視察談をなせしが今其の大要を左に掲ぐ

▲大連上陸（海軍慰問）　御慰問使の一行は一月上旬京地出發大阪にて一般兵士への御下賜品たる煙草等を纏めて之れが衛護を爲し獨逸皇族カールアントン殿下への御贈品を始め各師團長以上各外國從軍武官への御下賜品は特に手荷物として武官長之れを携帯せられたり一行は大連に到着して先づ碇泊中の第三艦隊を訪ひ御下賜品を交付したりしに同艦隊司令官は聯合艦隊司令長官に代りて之を拜受し次で上陸す當軍司令官に下賜品を交付し向病院を訪問し傷病者に對し慰問を爲したり

▲滿洲鐵道　は軍隊に供給する貨物の外普通の運搬を許さゞるが故に鐵道線路の兩側は飛雪積紛寒威凛烈の間北進の軍隊を以て埋はれつゝありて其辛苦の程は賊に察するに餘あり而して同一行は幸に滊車に乘り特に火鉢等を給されたり

▲遼陽到着（黒溝臺戰状況）　一行の遼陽に到着せしは一月三十一日にして彼の黒溝臺激戰後三四日の後にありしを以て我が戰傷兵の收容は已に取片付られ敵屍は猶ほ此處に彼處に散亂するを見たり元來寒中の戰闘は我軍の經驗少き所なるも十分凍傷の患なきやうの準備を整へたるを以て黒溝臺の戰の如き酷寒の時節に於ける實戰に際しても我兵の凍傷に悩みたる者甚だ少く其凍傷したるものも戰闘の當時の鬼命に手袋を引摑られて之を棄去り或は靴を脱ぎ棄てて素足にて敵を追擊し又は負傷して手足を雪中に埋め乍ら四道にて逃げ去るなどしたる場合に限りたる如し黒溝臺の戰闘は蘇麻堡附近最も激戰なりし由にて各兵彈丸盡くるまで勇戰したりと聞けり

▲沙河全線巡察　一行は二月二日より同九日に至るの間に於て沙河全線を巡視したるが我軍の穴居的舍營は厄塞の爲め地面一米突半ほど掘り居ると穴居とは言ふものゝ石か鐵か如き堅牢の舍營にして給養も良好にして十分に行届き居るにぞ故兵士皆滿腸の狀を呈し孰れも健かたる大寒舍營に能く耐したるを以て手足も黑ずみ居り五十日餘り幽絆を脱せねど云ふほどなるに至るも渡因の情態なく讓歩口の將と共に沙河の大戰開始せらるべしとは將士一般の豫期せし所にして士氣頗る旺盛なる處に恰かも善し長き達りの御慰問使ありて難有き思召を体へ恩賜の物品を分ち且つ兩陛下の軍事に深く感念を注がせ給ふことを傳へたれば將士孰も皇恩の優渥なるに感泣せざるなく連戰連勝の揚句と云ひ意氣沖天殆ど敵を呑むの概あり決戰の準備も殆ど遺憾なく行届き糧秣も十分にして兵站部の設備亦遺算なく一朝號令係めるに於ては全軍勇躍勝算の我方寸に在ることは疑ふべからざる如くに思はれたり（未完）

●駐韓米國公使の交迭

米國公使アーレン氏は多年韓國公使として駐在し漢城の外交團中最も古參の紳士なりしに今回交代歸國することゝなりモルガン氏其後を繼ぎて駐韓米國公使に任ぜられたりモルガン氏は曾て書記官として京城に在り一昨年歸國し國事に任ぜられたる人にして最も韓國の事情にも通じ居れば公使として適任の人なるべし斯くアーレン氏辭めモルガン氏駐韓公使となりしに就ては世間或は之を以て米國對韓策の一變の兆にあらざるかと疑ひ其意を忖度するものあれども聞く所によればアーレン氏夫人は風土の適せざる爲め近年兎角其健康を害し殊に交際社界に立つを好まざるに至りたるを以て遂に歸國保養することゝなりたる由なれば公使の交迭は即ち此轉任を見るに至りたる次第にて別に何等の仔細もなく從つて米國の對韓策に變化を來すが如きことはあるべからずと

●韓廷と獨逸大皇帝　獨逸國皇太子殿下の結婚式を擧行せらるゝにつき駐獨公使閔哲勳氏を特派大使として祝賀の國書を捧呈せしむることに決定せられたる由

●大祝捷使ご視察員

祝捷大使李載覺氏一行は來る廿七日京城を出發し仁川より乘船日本に向ふ筈にて一行は目下人選中なり又韓廷は右祝捷大使と同時に視察員十名を日本に派遣することに決定したりと因に右の視察員は總裁閔泳煥、閔泳綺二氏のみは略ぼ決定したりといふ

●議政府會議

去る廿一日の政府會議に於て決議せる件は左の如し

一、歳入を增加する件

一、日本に委任したる通信機關を日本に交附する件

一、韓國人にして日本に歸化するものゝ件

一、白耳義鐵道の件

右の外視察員を日本に派遣するの件、通信院奏任官敍任の件、駐米公使館經費支出の件を議したるも孰れも決定に至らざりしといふ

▽李觀察使の歸任　慶尚道觀察使李容璽氏は過日來京城に出張し居たるが今明日中に歸任する由

●警務刷新　今回警務事務刷新の結果として各觀察府に巡檢五名各港警理署に同十名宛を置くに決したりと

金州江の將來

三南の金州江岸は昨年來の農耕經營熱に動かされ九州方面殊に熊本より移住したる人々ありて是等の人は今や金州江沿岸金溝郡の西面東芝山といふ一寒村に根占地を定め農事經營に從事しつゝある故に三南一帶の發展につれ金州江岸に發達するは言ふまでもなし今金州江岸の現在將來及び日本人經營の狀況一班を記せば左の如し

▲多望の金州江　金州江は未だ地圖上又韓國に關する書冊上には一小流として本邦人には注目せられざりしも本江は江口より數里の上流迄干潮滿潮の影響を受けて五十石又は百石積の帆前船も能く溯行せられ仁川木浦又日本の各港よりも運輸の便なり此江は數百年來の水合の爲め荒蕪したる地は其儘放棄せられ爲めに兩岸には數百町步數千町のもの數里に連り今は只韓人の燃料として刈取るの外未だ開拓者の耕作を率かず水稻は兩岸數十里に連く連り米穀の產出尤も多く棉其他の產物又多く未だ統計の材料なく精密の調査は出來ざるも此の流域が一寶庫たるは疑ふべからず

▲日本人の經營　東芝山は群山を距る四里程金州江岸に沿ひ金州府へ通ずるの街道なり又群山より萬頃色金堤邑へ通ずる街道にも近接し交通便利なれば將來道路改築の結果は尚は一層の便を得べし本年二月十日より万頃郵便受取所開設せられ通信の便開け今は一里以內の邊陲本縣人及群島山口縣人を五戶人口十八人のみなれども二三月中には數戶の增加をみるならん東芝山は純粹の熊本縣人のみにて今後增加の見込あるも亦た熊本縣人なり附近には某大家の農業豫定地あり農事の進步は又觀つてみるべきものあるべし

●開城の近事

▲總代役場　當地ふては從來在留民も多からざりしを以て別に總代役場の設も無く總代の自宅に於て事務を取扱ひ來りしが近時在留民の增加につれ事務も繁多となりしを以て先般其向家屋の一室に總代役場を開設し田結安三郎氏常務書記となりて日々出勤事務を執り居れり

▲開城患者療養所　同所は是迄矢島軍醫の主任にて患者十餘名收容しありしが同軍醫は此度北進の命を受け患者の中十名だけ京城に送り當時は今泉軍醫長其主任となり又軍醫で他より赴任する事となれり

▲衛生會の組織　友岡兵站司令官、矢島軍醫其他有志者の發起にて此度開城衛生會なる者を組織せられたり同會は日韓清米各國人在留民全体を以て組織し會員よりは會費の程度に依り一級より拾級迄に別ちて一級每月韓貨一圓五十錢、十級同金錢、月々會費を徴收し之を以て當將內溝渠の浚渫、街路の清潔、辻便所の新設等公共衛生の普及發達を計るの目的にて既に昨十一日より韓人夫二拾名（向後常雇）を雇入れ兵站司令部附近より清潔實行に着手せり現會員は六千五百餘名月々の會費徴集額韓貨千參四百圓以上に達せんとの豫算なれば其施設頗る見るに足るべき者あらんと思はる

▲清兵來韓の噂　陰曆正月の初には清兵五千仁川に上陸せりとの噂韓人間に盛なりしが近來は又々清兵云々萬國保護のため來韓すべしとの風聞專らなる由併し流石の韓人中にも餘り信を措くもの少きが如し

▲旅館　旅館も追々に增加し來り城內には佐藤旅館、松葉館、城外には開和館、小川館等あり下宿屋等も追々增加の模樣なり、なれども思ひしより室內等も奇麗に飾る點は無論何れも韓人家屋に修理を加へたるもの頓し居れり宿料は壹泊壹圓五十錢二圓五拾錢等

▲物價　は壹般に仁川より高價なり今左に二參日用品の物價を記せば白米壹升廿二錢五厘、醬油壹升四拾錢、砂糖一斤拾壹錢、白砂糖一斤十七錢、石油壹罐二圓、清酒正宗壹升七十五錢、金鵄壹升五拾五錢

●韓海捕鯨業の情況

韓海捕鯨業の概況については既に本紙上に記するとありしが今當釜山領事館の報告を得たれば之を記せん、韓海の捕鯨事業は毎年九月頃より始まり翌年七月頃を以て終季とするの例にて其根據地としては咸鏡道新浦孔原鎮長箭慶尚道蔚山と各時季に應じて其場所を變更するものにて即ち九月の初季には新浦長箭を根據として一月中旬に入りて蔚山に移轉するを以て是亦例とし居るが昨卅七年は捕鯨事業も恐運衰と等しく開戰初頭は漁場危險を感せしを以て出漁中の者も俄に引揚げ歸國するあり或は出漁を中止するありて一時韓海には捕鯨船の跡を杜絶したりしが今や捕鯨事業は露國人の事業廢絶したるを以て全く本邦人の獨占事業に歸したると露國捕鯨隊壊亡の爲幾分か海上安全なるに及び本邦人は例に依り出漁せるも尚浦潮艦隊は全滅せるにあらずして時々は出沒せんとするの恐れあるにより本年は始めより蔚山港を根據として捕鯨に從事せるものを日本遠洋漁業株式會社及び長崎捕鯨合資會社とす日本遠洋漁業株式會社は從來露人と拮抗して斯業に從事せるもの長崎捕鯨合資會社は僅に二三年以前の創立に過ぎざるも今回大韓水產會社と結托し新に其營業を開始したるものにて前者に露國捕鯨船レゼナーヂクスの二隻を以て捕鯨に從事し運送には汽船共同丸一隻他に帆船七隻を使用す後者はノルウエー國汽船タルゼー一隻を使用し運送には汽船竟武丸一隻及他に帆船四隻を使用し昨今は厚ニ競爭的に捕鯨に從事しつゝあり然るに前記の如く本年は根據地の移動ありしに拘はらず意外にも出漁以來好結果を得今日迄に日本遠洋漁業會社は捕鯨數一百頭に達し長崎捕鯨合資會社は出漁後日淺きも既に四十五頭の捕漁をなしたりと云ふ目下漁獲船の種類は背美鯨にして良種にはあらざれども氣候寒冷なるが爲め生肉の儘本邦に輸送せられ得るの便あるが爲め一頭の價格約貳千圓に達すと云ふ

●清韓貿易業者の注意　從來我國輸出業者中には其商品に眞價の價格を附し稅關通過の際脫稅を企つる者ありしれが爲め却て高價に價幣せらるゝ淸商の課稅を受くる事あるのみならず頻累を他の誠實なる營業者に及ぼし爲めに外國貿易に於て其聲譽を毀損する所とくに本邦商品は此等好商輩の爲め誤ちらるゝことなれば之れに添付する送狀は少しも信用せられざる爲め稅關鑑定價格に對して課稅せらるゝを以て從量稅に比し通常三四割の高稅を課せられ甚しきは其二倍以上に達するあり其他外國品と競爭するあたはざる一因ともなれば右等弊害の矯正手段として清韓間貨物には地方廳及商業會議所に於て價格證明の任に當り其證明書を添付せしむべき旨農商務省より夫々通牒せるに付き現に神奈川縣並に横濱商業會議所の如きは管內營業者に對して注意通牒を發せる由即ち左記の各項は特に注意を要すべき事なる由

一、送り狀は實際通りに認め掛引を爲さゞる事

送り狀認め方

一、送り狀は必ず英文にて認むる事

一、讀み易き筆蹟に認むると

一、差向地關稅率表の類別を參照して詳細の記入をなすと

一、輸入申告書には製造元の送り狀の外に船會社送り狀保險證書を添付すると

一、保險金額は送狀面の價格で大差なきと

●代議士の滿韓視察　政友會代議士の滿韓視察を申出でたるは井上安太郎、井上甚太郎、荻野芳藏其他五六氏にして何れも京釜鐵道開通式參列を兼ね滿韓地方を視察せんとするもの少なからずと

●病院設置の議　本邦の有力なる醫師藥劑師等に依りて組織されつゝある同仁會にては京城大邱何れかの中に資本金二萬圓の豫定にて一大病院を設置し本邦人の疾患は勿論韓國民の疾患者一般の施療を目的とすべしの事なり

●常議員會の延期　同會は一昨日を以て開會の筈なりしが昨日迄延期せり

●衛生組長會　は來る廿九日警察署階上に於て開會する筈なり

●釜山醫會組合例會　當釜山醫會組合にては來る廿六七日頃例會を開催流行病其他當港衛生上に就て協議する筈なりと

●會社學校衛生の設備　韓國に於ける衛生は尤も幼稚にして初めての渡韓者の如き目を驚して吃驚する事のみなるが中にも學校の嘱託醫の如き醫生の如き［illegible］設備の完全を絶叫され居れば早晩之れが實行を見るに至らん也

○衛生上と淺海學士　該氏には今川流の良醫士なく無患者ある施療に困難する者の若將における又隨つて衛生上の發展を永遠に期する能はざりしが今回東都より淺海なる醫學士同地に出張する事となりたれば一般滿足する所なるべし

●當港小學校本學期の結果　當釜山小學校は本學期の中頃に於て失火に遭ひ十數日の休暇を爲さゞる境遇に陷りのみならず校舍等に於て教授をなしたるより一般成績不良なりしならんと想像し居れども當局者の語る處に依れば其の理由丈は判明せざるも却つて良好の成績を見たりといふ

●朝鮮葉煙草の欠乏　一昨年迄は左迄劇しき狀態にもあらざりしが昨年に至りては一般に朝鮮葉煙草の欠乏を來たしたる機にて該品製造業者の心痛する所となれり右の原因は本邦人の渡韓者多くなりしと共に韓人一般に奢多に流れたる結果亂煙の弊害に起因したるならんとの說一致し居れりと

●企業協會の設立　當穀物協會臨時部出張所は今回企業協會と改稱し或る有力なる資本家と合同して土木建築運輸等の事業を營み兼ねて戰後の經營に熱心企圖する由なるが同協會には有爲の人物も多く官衙の氣受等至極良好なりといふ

●五八銀行の出張所　五十八銀行の今回鎮南浦に新設したる出張所は殷に歡迎され開業當日は非常の盛況を呈したりと因みに同出張所には現任店員四名あり

●韓南の穀物と北韓　當港本町內山貿易店について聞く處に依れば韓南各地より產出する穀物の多くは本邦に輸出するものゝ外元山を經過して北韓の各地に行くもの多く［illegible］

●昌文社の創立　元朝鮮日新聞社員［illegible］川氏の組織さるべき韓國印刷所は目下活字器械を本邦に於て購求中にて來月初旬着荷次第直ちに開業に着手する筈なり

●釜山罐詰所と牛肉　當港富平町釜山罐詰所にては切肉百目金七錢全精肉金十錢ロース金十八錢の安價にて販賣する由

●檢兵獻金　當港西町五丁目五十六番小柳須賀は去る廿二日金四圓を檢兵部へ獻金せり

●巡邏船入港　馬山浦水產組合巡邏船三號船は昨朝郵便物受取の爲め入港せり帆期は天氣快晴の模樣なりと

●漢城院長　今回新たに西山下町に開業されたる［illegible］氏は當醫會組合に入會さるべし

●日朝窯業館［illegible］の上京　窯業販賣其他の用件を帯び來月上旬東京に向つて出發全月中旬歸釜する筈

●大商店訪問記（三）

▲佐々木小間物店（入江町）　木本商店の隣家なる佐々木小間物店を訪ふ店主不在店員某氏の語る拙店の小間物は婦人方のが七分で殘三分は男子の方の入品です石鹸は當港口錢のある商品ですから取り扱ける商品ですおスミチックを初めて取り入など當港には隨分需要が御座います來月になれば店主も大に流行品杯も整へて歸ります云々

▲太田商行（辨天町）　辨天町太田商行を訪ふ店主不在新たに須磨より來り同店の主任たる某氏と語る氏曰く弊店は遂に二三日前に開業した許りでお話し致す材料も御座いません拙者は此頃來た許りで御座いませんが弊店の開業と共に支店を設けましたが科目は大分縣の物產が重なるものでございますそれに次では和洋酒を專賣致す積りでございます云々

▲島田理髪店（入江町）　入江町島田理髪店を訪ふ店主曰く拾五年前の開業ですいや未だ古いのは私の前から入て燒失致しましたから前の拾時頃から夜の拾時頃になつて來客ありましてね暇な位でつと剪を置く様な仕末で暇の時は御話が致す様な事も御座いませんが當港の理髪店は拾五六軒御座いまして組合も出來て居ります云々

明治三十八年九月十四日第三種郵便物認可　明治三十八年三月廿五日　朝鮮日報　(日刊)　(土曜日)　第五十三號　(三)

朝鮮日報

小說

佛蘭西騎兵の花（廿五）

英國 コーナンドイル著　日本 梅村隱士譯

廿五二人が殴ふてみて僕へ負けても世良田をば英國の陣營に連れて行かねばならぬは波戸男爵が主張する處であつた、亦もや劔を閃めかして突きかゝりながら、

「君を我陣營に連れて行けるかどうか君の四分に對する九分の賭をせう」

と呼んだ。

波戸の此言葉は困つて居た世良田の爲には好い智慧を與ゆるのであつた、世良田大佐は心の中に思ふやう我々は今戰ふよりも別の好い方法で以て此問題を決する途も無らうかと、波戸は今世良田をして止むを得ず波戸を傷けるか或は自ら傷かねばならぬ樣な場合に會はじめてゐる。世良田は波戸の劔の切先を外づして、

「僕は提議する事があるです、我々は孰らが捕虜であるかを決する爲めにダイスを轉かしてみやう」

波戸は之を聞いて微笑した、世良田は疑かに波戸の賭事好きなのを利用之得たのであつた。

波戸「君はダイスを持てゐるのかね」

世良田「それも持たない」

波戸「僕も持たない、而し札なら持てる」

世良田「札でも宜しい」

波戸「何の勝負をやらう」

世良田「夫れは君の方から云ひ玉へ」

波戸「骰取りをやらう、彼奴が一番好い」

世良田は心の中で微笑みながら之に同意した、と云ふのは佛蘭西で此道にかけては自分の恐ろしいものは三人と居ないから、

世良田は馬より下りて此事を波戸に話しをすると波戸も之を聞いて微へく笑みゝ、

「僕も倫敦では恐い者は無いのさ、それに君が勝つたなら例令へ運であつても確かに君の軍隊に歸つて好い丈けの價値はある」

二人は二頭の乘馬を繋ぎて大いな平たい岩の上に座つた、波戸は斯くて軍服のかくしよりトランプの札を取り出して、先づ骰取りをした處が波戸が親をする事になつた。

世良田に採つては此賭博程重大なる關係を有するものはない、波戸は此勝負に金貨百枚を賭けやへさ撲したが、世良田大佐の爲めに金錢は塵同樣で此札の上に將來の運命が繋つてゐる計りだ、

世良田は其母親や部下の騎兵隊やネイ將軍やマッセナ將軍さては皇帝さへが此寂しき溪間に輪を作つて立つてみてゐる樣で孰れも此賭博の勝負如何にと氣遣つてゐるかの樣に感ぜられた、若し此札が世良田の爲に不利益であつたならば此等の人々に對して如何に打擊であるであらうか、而しながら世良田は心の中に確かに自分の技量を信じてゐる、其劔法と同樣に。

第一回は苦も無く世良田の勝となつた、それは勿論敵の手が惡かつた事は明かである、

第二回には波戸の手が好かつた實際世良田の巧妙な遣方も實に其甲斐がなかつたので波戸の勝となつて了つた。

今度が終ひである。

二人は軍帽を脫いで側に置き大あぐらをかきながら畢生の勝負になつた。

●當世鯉の奴豆腐

朝に夕に「豆腐〜〜」と呼びあるく男あり、戶籍面の名は知らねど仲間の金さん〜〜といへば性來はちと天保錢ながら、それでも立派に通用する實體者、家には巳れより三つ年下の貰ひ娘ありてこんな商賣には過ぎたよき名の評判といふなる色の白さはお手のもの、豆腐も及ばず年は當年取つて二十一なれば、油揚げならねどそれから脂肪の乘る盛り、肌は絹衣のやうに細かく、柔らかくそれでもない客色を論ふより豆な口を利くといらぬお世話を雛豆腐、細い目尻を釣上げて青筋など立てらけの額越しに睨むは彼の金さんが每度のおとなり、根が大の惰情者の金さん、働らくよりは寢てゐる方が樂だと悟つて居たに拘はらず、近頃は何んと思つてか滅切り商賣の道にも力を入れて「豆腐〜〜」の賣聲も威勢よく聞かるゝやうになりしは何んぞ曰くがあらうと是も又餘計な氣をもんであつそり探つて見ると有るとも〜〜無くて叶はぬ其仔細、それをつい一口に云つて了へば……イヤさう小聲では解らぬ、では最一つと大きく、そら〜の〜〜して又讀まと云はずと知れた彼に、かの金さんなる人、ヤイの〜〜を極め込みける、とあるが先方のお嬢は鐵の口說かれても平氣なもの我ヤ知らん勝手におしよ、ばかばつかりのんと顏素向けて勘らしくすねた所は却つて可愛しさの增す思ひはあれど、其實飽に早り年の井戸程深い馴染の男ありと聞きては流石れ付出度い金さんとても少しはカッツ進退にて、何でも角でも手に入れずは生甲斐なしと、夜も日も寢ずに思案の溜息つく〜〜鐘の音の聞に、ハテどうしたものであらうと、時代めいた台詞をうなるどあるは、いかにも芝居がゝつて居るので、あゝに商賣物に因みある名題をつけて、曰く『當世鯉の奴豆腐』如才ない君は豆腐より娘書め（狂）

●大仕かけの詐欺漢

斯くて伊は契約に依りて本年一月二日代人として當地へ請求に遣したるに計らざりき龜六は何日の間に伊の印形を盜用したりけん伊華叔振出龜六宛の韓錢五百貫文の預り手形を作製し之を以て昨年十二月廿七日右南倉にて計算したる時龜六より伊に對して七百餘圓の支拂ひあるも當時伊は龜六より受取り置きたる手形を所持せざるより便宜に之を相殺する爲め伊より領收せしを乃ち頭面にも實現りて自分の債務を免れんと企てたるも商が數額小賣商位ひの商賈人に七百餘圓の大金を所持する筈なく又十二月六日伊の許へ赴く時とて所持せし模樣なく又不足額の金百圓は八木より借用したるなど申立つるも八木の申立とは前後の事情一致せず八木とて親族の關係情みにひかされ斯く虛言を申立つるものならん南倉にて會合せし時七百圓の日本紙幣を伊に渡し之に對し龜六が振出しある五百貫文の手形を回收せんとせしも當時伊の手にあらざるより更に伊より龜六宛に五百貫文の手形を作製せしめ受取りたると主張するも龜六の手許には現金とてなく其の手形も伊の筆蹟とは異り又斯る計算の時受取書に代用するに手形を代用する等込み入りたる事件にて遲滯なく行はるゝものにあらず全く伊方に往來しつゝある時か若しくは泊り込みたる時手形を僞造し伊の印形を盜用したるものにて全く詐欺の手段にて仕組みたる仕事ならんされど天網は恢々と疎にして漏らさず遂に體刑を受くるに至れり

今更ニ後悔しても追付かず　狂、

●劇藥にて自殺を計らんとす

……△遊廓の朝日樓に於て△……

近頃は忌々しき話し計り耳にするものかな大分縣南海部郡東中浦村大島五百八十六番地當時當港本町三丁目十五番地無職竹中染次郎（三十）通名瀨次は佐須土原朝日樓に從前雇はれ居りたるものなるが當時同樓娼妓と怪しき仲となり屢々樓主仲居の目を盜みては密通し居りたるを同樓にても勘付き斯くてはならじと放逐し尚疑しき點ありたるとて汚名を被りたるを無念とし劇記の處へ引越したるが如何にも無念さ遣る方なく決心の臍を固めて一昨夜八時三十分頃同樓に到り三十一文字の辭世らしきものを殘去て激劇を服し自殺を計りたるも同樓內の者に發見され死にきれず目下同樓內に療養中なるが生命には別條なき由なるが之に就ては面白き事柄等あるより詳細は次號

、公死ねよ坊主は賴む激藥死　奴、



▲湊月さんモー秋の風が立ちまーたか見限りもあんまり早いようですネ（スヘタ）▲お龍さんとあの善哉は水臭くてれロシさんとあの善哉は甘ますぎる（赤星）▲つや子讓よ僕は御身にラフしつゝあるも御身は之を柳に風と受け流して何等の返答もなく僕を失望せしむるか（執心生）▲北濱海岸邊では每夜男女の怪しき事をなすものがある取締を願ひます（風紀生）▲日本人がチゲクンを許略するを以てチゲクンの同盟罷工をやらして見たいよ（ストライキ生）▲あんまり腹が空いたもんだから郵便局の裏のウドン屋に立寄らんとしたかオヤマスセと變手古な御挨拶に恐縮仕つて飛出した（喫驚生）▲當港の淫賣婦は近來非常に多くなつて害毒を流すと聞きました早く撲滅したいもんだ（ヤツケ生）▲木村の畜生又た再びあアニ公ム事をして見ねエ今度こそはぶん毆ぐるぞ（八公）▲誰をも彼れも一遍は小糸の喉を聞いて見給へなかゝうまいせ（愛する者）

朝鮮日報

韓錢相場